

## 有機溶剤・特定化学物質等持込使用届

事業所の名称

所 長 名

---

---

殿

一次会社名

使用会社名

( 次 )

現場代理人

(現場責任者)

このたび、下記の有機物質・特定化学物質等を持込・使用するのでお届けします。なお、使用に際しては、SDS(安全データシート)内容を掲示し、作業員に対して周知を行うとともに関係法規を遵守します。

使用材料	商 品 名	メ ー カ ー 名	搬入量	種 別	含 有 成 分
使用場所					
保管場所			使用機械 又は工具		
使用期間	R 年 月 日 ~ R 年 月 日 (予定)				
作業主任者等	氏 名 作業手順書 添付 ( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )				
物質管理者	氏 名			保護具着用者 管理責任者	氏 名
SDS	添付	( <input type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )			
換気等対策					

- (注) 1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写しを記入して下さい。  
2. 危険物とは、ガソリン、灯油、プロパン、アセチレンガス等をいいます。  
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいいます。

元請  
確認欄

提出の年月日を記入  
する。

令和7年6月4日

## 有機溶剤・特定化学物質等持込使用届

二次及び三次会社名を  
記入する。

事業所の名称 渋谷駅前再開発計画〇〇作業所  
所長名 〇〇 〇〇 殿

一次会社名 〇〇建設(株)  
使用会社名 (二次) 〇〇工務店(株)  
現場代理人 (現場責任者) 〇〇 〇〇

二次又は三次会社の現場代理人  
名を記入する。

このたび、下記の有機物質・特定化学物質等を持込・使用するのでお届けします。なお、使用に際しては、SDS(安全データシート)内容を掲示し、作業員に対して周知を行うとともに関係法規を遵守します。

使用材料	商品名	メーカー名	搬入量	種別	含有成分
使用材料	ビニボン100	関西ペイント	30Kg	塩ビ塗料	トルエン・キシレン
	同上 シンナー	〃	36Kg	シンナー	〃
	コボンPR塗料液	日本ペイント	20Kg	エポキシ塗料	トルエン・MIBK
	同上 硬化剤	〃	20Kg	〃	アシン類
	コボンPシンナー	〃	40Kg	〃	トルエン・MIBK
使用場所	倉庫棟地下1階及び集配室塗装工事				
保管場所	事務所横材料置場に専用の コンテナハウスを設置	使用機 又は 工具	ハケ塗り又はローラー塗り		
使用期間	R7年6月6日～R7年12月31日(予定)				
作業主任者等	氏名 〇〇 〇〇 作業手順書 添付 (有・無)	使用会社の作業 責任者	個別の作業現場毎ではなく、工場、店社、営業所ごとに選任。		
物質管理者	氏名 〇〇 〇〇	保護具着用者	〇〇 〇〇		
SDS添付	(有・無)				
換気等対策	塗装開始から乾燥するまで、送風機にて送排気する。(エポキシ塗料の場合)				

- (注) 1. 商品名、種別、含有成分等は材料に添付されているラベル成分表等から写しを記入して下さい。  
2. 危険物とは、ガソリン、灯油、プロパン、アセチレンガス等をいいます。  
3. 有害物とは、塗装、防水などに使用する有機溶剤、特定化学物質などをいいます。

参考様式第8号

元 請  
確 認 欄

年 月 日

# 火 気 使 用 願

事業所の名称 \_\_\_\_\_  
所 長 名 \_\_\_\_\_ 殿

一 次 会 社 名 \_\_\_\_\_  
使 用 会 社 名 \_\_\_\_\_  
( 次 ) \_\_\_\_\_  
現 場 代 理 人 \_\_\_\_\_  
(現場責任者) \_\_\_\_\_

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告いたします。

使 用 場 所			
使 用 目 的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、炊事、その他 ( )	使 用 期 間 使用時間 (原則)	月 日 ~ 月 日 時 分 ~ 時 分
火 気 の 種 類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他 ( )		
管 理 方 法	消火器、防火用水、消化砂、防災シート、受皿、標識、監視 取扱上の注意 ( )		
火 元 責 任 者 (後始末巡回者)			
火気使用責任者			

※使用目的、火気の種類、管理方法は該当事項を○で囲んで下さい。

許可第 号	(許可年月日) R 年 月 日
火 気 使 用 許 可	防 火 管 理 者
	担 当 係 員
許 可 条 件	

※毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。

参考様式第8号

作業員を雇用する会社が作成し、一次の会社を通して元請に提出する。

元請確認欄  
令和7年6月4日

# 火気使用願

事業所の名称 渋谷駅前再開発計画〇〇作業所  
所長名 〇〇 〇〇 殿

一次会社名 〇〇建設株  
使用会社名 (二次) 株〇〇工務店  
現場代理人 (現場責任者) 〇〇 〇〇

下記の要領で火気を使用したく許可願います。なお、火気使用の終了時には、必ずその旨報告いたします。

使用場所	A工区基礎地中梁内		
使用目的	溶接、溶断、圧接、防水、乾燥、採暖、湯沸、炊事、その他 ( )	使用期間	6月 25 日～ 7月 31 日 使用時間 (原則) 8時 30 分～ 17時 00 分
火気の種類	電気、ガス、灯油、重油、木炭、薪、その他 ( )		
管理方法	消火器、防火用水、消化砂、防災シート、受皿、標識、監視 取扱上の注意 ( )		
火元責任者 (後始末巡回者)	〇〇 〇〇	使用会社記入欄	元請記入欄。 下請業者記入不要。
火気使用責任者	×× ××		

※使用目的、火気の種類、作業所の管理番号 ( )で囲んで下さい。

許可第 5 号	(許可年月日) R 7 年 6 月 5 日
火気使用許可	防火管理者 〇〇 〇〇 担当係員 ×× ××
許可条件	元請会社記入欄 1. 花火及び切断屑は必ず受皿で受けること。 2. 作業場所には粉末消火器を配置すること。 3. 作業終了後は火がないことを確認すること。

※毎日時間で管理する場合は、この様式を参考にして書式を作成して下さい。